

2016年1月15日



～旅の思い出を詰め込んだ新しい土産が登場～
「茨城フィギュアみやげ」いよいよ発売開始！



JR 東日本水戸支社では、2016年1月～3月の茨城県観光キャンペーン「気になるイバラキ」の開催に合わせ、(株)JR 東日本リテールネットと、茨城の名物をフィギュアにしてカプセルに詰め込んだ「茨城フィギュアみやげ」を企画しました。

精巧に表現された見ごたえのあるフィギュアは、駅構内に設置されるカプセル自販機のほか、NewDays などエキナカのコンビニや、県内の観光施設等でもお買い求めいただけます。新たな茨城のお土産として、旅の記念や親しい方へのお土産に、是非ご利用下さい。

1 商品概要

- (1) 商品名 「茨城フィギュアみやげ」
- (2) 販売開始日 2016年2月12日(金)
- (3) 販売箇所 ①茨城及び東京・埼玉・神奈川・千葉県内の JR 主要駅
②茨城県内の観光施設等
- (4) 販売価格 1回400円(税込)

2 製造・販売元

製造：株式会社海洋堂
販売：株式会社 JR 東日本リテールネット



【カプセル自販機 (イメージ)】

3 商品特徴

茨城県観光 PR キャンペーンの「気になるイバラキ」と連動した、新しい茨城の土産として誕生。

(株)海洋堂が世界に誇る高い造形技術を駆使し、茨城の様々な魅力を精巧に再現したフィギュアは、大人も子供も手にとって見て楽しめる一品です。

豊かな自然が育んだ食材と観光地が魅力の茨城は、最端技術による工業の開発にも力を入れており、定番の品から新しい取り組みまで、茨城の魅力をカプセルに詰め込みました。

4 商品ラインナップ



【水戸黄門 助さん格さん像】

水戸駅北口にある水戸黄門像。水戸黄門こと水戸藩第二代藩主・徳川光圀は、「大日本史」の編纂など数々の学問・文化的功績を残した。テレビドラマでおなじみの、助さん、格さんを従え諸国を旅するイメージは、実は資料収集のため家臣を諸国へ派遣したことが基になり、「水戸黄門漫遊記」として残ったのだとか。



【H-IIA ロケット】

研究学園都市として有名なつくば市にある「筑波宇宙センター」。日本の宇宙開発の中核機関で、現在主力として活躍している「H-IIA ロケット」は、世界のトップレベルの技術水準を誇る。一般見学も可能で、日本初の純国産ロケット「H-IIロケット」の実機や、展示館では歴代ロケットなどが展示されている。



【納豆】

水戸といえば納豆、というほど全国に知られた茨城名物。稲わらには納豆菌が多く、蒸した大豆を藁で包み発酵させるのが伝統的な製法。元々農家などで盛んにつくられていた納豆を商品化し、明治22年の水戸駅開業とともに駅前広場で売り出したことが好評を呼び、水戸名物として全国に広まったと言われている。



JR 東日本商品化許諾済

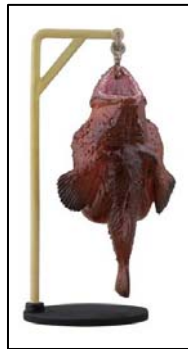
【485系特急「ひたち」】

上野～いわき間を結ぶ「ひたち」として1972～1998年まで活躍した485系。国鉄の特急車両として様々な路線で活躍し、独特のボンネットの形やベージュとエンジのカラーなど、「特急」といえば485系を思い浮かべる人も多いのでは。今回、利根川橋梁を渡る風景を合わせ、在りし日の「ひたち」を再現。



【ムコナくん】

品川駅～いわき駅間の常磐線主要駅を結ぶ特急列車「ひたち」ときわとして活躍するE657系。そのイメージキャラクター「ムコナくん」は、常磐線や茨城のPRで活躍中。名前はもちろん「ムコナ(657)」。なぜ猫なのかは…E657系の車両を正面から見てみよう。



【あんこうの吊し切り】

「西のフグ 東のアンコウ」と称され、茨城を代表する冬の味覚のひとつ。吊るし切りは、下顎にフックを掛けて吊るし、胃袋に水を入れて体全体を膨らませて捌く独特の捌き方で、ずっしりと大きく、しかも全身が軟らかくてぬめりが強いあんこうを手早く捌くための伝統的な方法である。



©GIRLS und PANZER Film Projekt

【ガールズ&パンツァー】

2012年に放送された、女子高生たちが戦車を使った「戦車道」を展開する人気アニメ「ガールズ&パンツァー」。その舞台・茨城県大洗町は、「ガルパンの聖地」として多くのファンが訪れる。劇中でも存在感を発している大洗町のシンボル「大洗マリシタワー」をメインにしたワンシーンをフィギュア化。